

情報わいど

Information

募集

福岡県民手帳予約受付開始

県統計協会は、2019年版「福岡県民手帳」を販売します。サイズはハンドブック判、標準判、ポケット判の3タイプです。

●価格(税込) ▽ハンドブック判 1,000円 ▽標準判 600円 ▽ポケット判 500円

●カバーの色 ▽ハンドブック判 黒▽標準判 黒、アイスグレー、ワインレッド▽標準判(横野スケジュール) 紺▽ポケット判 黒、ワインレッド

●申込方法 希望者は、10月

1日(月)までに市役所柳川庁舎3階企画課や大和・三橋庁舎1階市民サービス課に申し込んでください。手帳は11月ごろに各庁舎でお渡しできる予定です(代金引換)。

問い合わせは、市企画課 画係(☎77・8423)まで。

県営住宅入居者募集

●募集案内書配布・応募期間 9月27日(木)～10月5日(金)

●募集案内書配布場所 柳川庁舎2階建設課、大和・三橋庁舎市民サービス課

●応募方法 募集案内書に添付の封筒で郵送

問い合わせは、県住宅供給公社県営住宅管理部(☎092・781・8029)まで。

講座・催し

柳川市・みやま市事業主人権・同和問題研修会

●日時・会場 10月11日(木)、午後2時～4時30分、三橋生涯学習センター大ホール

●内容 啓発ビデオの上映や馬場周一郎さんによる「変わる日本、変わる社会」企業、自治体の人権課題を考える」と題した講演

問い合わせは、市人権・同和对策室(☎77・8532)へ。

●日時・会場 10月12日(金)、午前10時～(受け付けは30分)

市乳幼児教育講演会

問い合わせは、市人権・同和对策室(☎77・8532)へ。

ヴォーカルアンサンブル C-IN-Q演奏会

●日時・会場 9月30日(日)、午後1時～、水の郷

●参加費 無料

問い合わせは、同施設(☎75・6200)まで。

高齢者のためのしごと・ボランティア合同説明会

●日時・会場 10月11日(木)、午後1時～3時30分(受け付けは、午後0時30分～3時)、久留米市商工会館(久留米市城南町)

●内容 企業との面接や専門相談員への相談ブースを用意、

9月の発注情報

柳川市からの掲示・公告予定の建設工事などは、次のとおりです。

◆9月21日掲示

▷高町地内水路整備工事

▷むつごろうランド公園整備工事

※設計業務の進捗状況によって延期になることがあります。繰り上がることはありません。

※工種や等級区分などにより、電子入札と紙入札を併用しています。資料などの受け取りにはご注意ください。

市戦没者追悼式

市は、戦没者の追悼と恒久平和を祈念するため、以下のとおり追悼式を行いますので、多くのご遺族や市民の参列をお願いします。ご遺族には遺族会を通してご案内することができます。

●日時 9月20日(木)、午前10時～(開場は1時間前)

●会場 市民会館大ホール

問い合わせは、市福祉課(☎77・8512)まで。

9月30日は柳川市議会議員一般選挙投票をお忘れなく!

●告示日 9月23日(日・祝)

●投票日 9月30日(日)

●投票時間 午前7時～午後8時

●投票所 各家庭に郵送する「投票所入場券」に記載された場所で投票してください。投票所入場券を紛失した場合でも投票はできます。投票所で係員に申し出てください。

●投票できる人 選挙権がある人は、以下の2点を満たしている人です。

▷平成12年10月1日までに生まれた人

▷平成30年6月22日までに柳川市に住民登録し、引き続き住民基本台帳に登録されている人。なお、投票日までに市外へ転出した人は、投票することができません。

期日前投票

投票日当日に仕事などやむを得ない用事で投票所に行けない人は、各庁舎の投票所で期日前投票ができます。

●期間 9月24日(月・振休)～29日(土)

●時間 午前8時30分～午後8時

●場所 ▷市役所柳川庁舎3階第1会議室▷市役所大和庁舎1階第1会議室▷市役所三橋庁舎1階ロビー

※どの期日前投票所でも投票することができます。投票所入場券を持参してください。

不在者投票

期日前投票日、投票日当日に市内にいない人は、滞在先の選挙管理委員会では不在者投票ができます。県の指定を受けた病院などでも不在者投票を行う人は、早めに投票用紙を市選挙管理委員会に請求してください。

□開票 9月30日(日)、午後9時15分から市民体育館で実施

問い合わせは、市選挙管理委員会事務局(☎77・8491)まで。

●対象 介護未経験者、50人

問い合わせは、県社会福祉協議会(☎092・584・3310)まで。

事業承継セミナー

経営者交代時に活用できる各種支援施策を説明します。

●日時・会場 10月11日(木)、午後2時～5時、柳川商工会館

●内容 ▽第一部 事業承継の現状と課題、承継時に活用できる支援施策 ▽第二部 特例事業承継税制 事業承継・自社株対策のポイント、個別相談有り、50人、無料

申し込み、問い合わせは、柳川商工会議所(☎73・7000)まで。

図書館休館日の訂正

広報やながわ9月1日号に掲載した、図書館の休館日に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

●休館日 ▽9月17日(月・祝)、24日(月・振休) 両開・昭代・蒲池・雲龍図書館 ▽9月25日(火) 本館・三橋・水の郷分室

問い合わせは、図書館本館(☎74・4111)まで。

その不調足にアアいるかも…あなたのカラダは悲鳴をあげていませんか?

まずは身体のお悩み相談

ワンコイン足診断

足先マッサージ付き診断 先着20名限定 ※要予約

500円

こんな症状はありませんか?

- よくつまづく
- なんだかスツキリしない
- 足がダルい、むくむ

今すぐお電話下さい!!

フットケア専門の 和のつくり泉

0944-73-9836 柳川市西浜武 761-1

お知らせ

保育料減免の新制度

税制上、未婚のひとり親は、寡婦（夫）と比べ不利な取り扱いとなっていて、保育料が高くなる場合があります。そこで市は、ひとり親家庭支援の充実を図るため、9月から未婚のひとり親を地方税法上の寡婦等とみなし、保育料を算定します。

●対象 次の全てを満たす特定教育・保育を受けている児童の保護者
▽一度も婚姻したことがない▽同一生計の20歳未満の子（総所得金額等が38万円以下で、他の人の控除対象配偶者や扶養親族になっていない人）がいる▽父の場合は、合計所得金額が500万円以下。母は所得制限無し

●申請方法 マイナンバーがわかる書類と免許証などの本人確認ができるもの、児童扶養手当証書または発行から3か月以内の戸籍謄本、印鑑を持って、市子育て支援課で申請
●注意点 ▽申請しない場合は未適用。また、適用を受け

ても保育料が減額されない場合あり▽事実婚の状態にある人や税法上の寡婦（夫）控除を受けている人、生活保護の人は対象外
問い合わせは、市子育て支援課（☎77・8523）まで。

はかりの定期検査

はかりや分銅、おもりを、取引・証明に使用している人は、必ず受検してください。

●日時・会場 ▽10月1、2、5日 城内公民館▽10月3日 大和生涯学習センター▽10月4日 三橋生涯学習センター、全日午前10時～正午、午後1時～3時

検査手数料

①非自動はかりで、検出部が電気式や光電式のもの ▽ひょう量が100kg以下 1400円▽ひょう量が250kg以下 1800円▽ひょう量が300kg以下 2200円
②棒はかりや光電式以外のはね式指示はかりで、直線目盛があるもの 250円
③その他のはかり ▽ひょう量が100kg以下 500円▽ひょう量が250kg以下 900円▽ひょう量が300kg以下 1500円

④分銅や定量おもり、定量増おもり 10円
※最小の目量や感量がひょう量の1万分の1未満のものは、金額が2倍

問い合わせは、（一社）福岡県計量協会（☎092・939・2945）まで。

住宅・土地統計調査

市は、10月1日現在で住宅・土地統計調査を実施します。この調査は、住生活に関する重要な調査で、全国約370万世帯を対象とした大規模な調査です。調査期間中に統計調査員が調査書類を配布しますので、調査票かインターネットで回答をお願いします。

問い合わせは、市企画課企画係（☎77・8423）まで。

10月は「里親月間」

里親とは、さまざまな事情により、自分の家庭で生活することができなくなった子どもを、自らの家庭に迎え入れ、養育する人です。里親について知りたい人や里親を希望する人は相談してください。
問い合わせは、県大牟田児童相談所（☎54・2344）へ。

【写真1】萩の記念碑（三橋町百町）



【写真2】絵はがき「水郷柳河 二ツ川の萩」（柳川古文書館所蔵）



【写真3】絵はがき「柳河風景 二ツ川畔の萩 花盛」（柳川古文書館所蔵）

9月も半ばとなり、少しずつ秋の夜長を感じる季節となりました。中秋の名月には、お供え物をしてお月見を楽しむ方もいらっしゃるかと思います。
お月見のお供え物として、お団子やスキととも代表的なものが萩の花です。萩は古来日本人に親しまれ『万葉集』にも多く詠まれた草花です。柳川では明治後期以降、高畑公園周辺の掘割などに萩が多く植えられ、名所として知られるようになります。

そのきっかけは、立花鑑寛（最後の柳川藩主）が風流を樂しむため、二ツ川の堤防修繕事業の際、自ら萩の植え込みを行ったことに始まります。旧藩主立花家の家務を記録した「令扶日記」を読むと、明治31（1898）年3月12日の記述に、かねてから萩の植栽を希望していた鑑寛が、堤防の南側450間（810m）、北側370間（666m）に、合わせておよそ2400株の萩を植えたという記載があります。その3年後の明治34年には、鑑寛の植栽を記念して、新村堤に萩の記念碑が建てられます（写真1、現在は百町の水門側に移設）。
碑文によれば、植えられた萩

二ツ川の萩

市史編さん係 伊東かおり

俳句

今月の入選作品・課題
「秋立つ」「残暑」「花火」「当季雑詠」

ついで来る犬も片蔭拾ひつつ

夕暮れて涼風匂ふ山の里
佐賀空港土産携へ夏空へ
ひとひらの雲姿よく秋立ちぬ
盆帰り送る母の背淋しかり
朝風に日覆半分巻き上げて
るり色の花に小さき秋を見る
奥山のロッジの一夜秋めきて
赤信号誰も通らぬ秋暑し
彗星の空に煌めく富士山頂
朝夕の秋立つ風に凜として
晩酌は花火の音を聞きながら
昼も夜も熱火の如き残暑かな
じりじりと音の聞こゆる遠花火
渋滞の窓にとびらめく遠花火
にじりいろのとびらをあけるかきこおり
夏休みしゆくくだい多いあせるわたし
原爆忌二度とやらないあの戦
悲しいな蟬の命は一週間

堤 幸代（西浜武）
徳永エツ子（徳益）
松尾一子（西浜武）
古賀幸子（横山町）
井口まり子（間）
池田美幸（佃町）
坂田信幸（鷹ノ尾）
山口房子（白鳥）
山田美代子（下宮永町）
梅崎三和子（田脇）
星野 潜（宮永町）
田中眞智子（西浜武）
高崎登美雄（間）
末次敏弘（城隅町）
岡本タマキ（蒲船津）
阿斐田園一（吉富町）
かわそえさら（昭一1小）
元村ゆきな（昭一1小）
岩本純弥（藤吉小6年）
山川算太（藤吉小5年）

◆選者の句
新涼の巫女美しや絵鎮守 絃一
俳句を募集します。選句者は、中村絃一さん。9月の課題は「月」「彼岸花・曼珠沙華」「秋刀魚」「当季雑詠」。入選作品は10月15日号に掲載します。
●応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品（※1人3句以内）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係（☎77・8425、RX74・5520）へ、9月25日（※必着）までにお送りください。

は、錦を引いたように咲き広がりに、綾のような二ツ川の波の模様と相まって、美しい景観を呈していたようです。
この景色は、戦前の絵はがきの題材にもなりました。例えば、写真2を見ると、季節は夏のようにですが、萩が茂る二ツ川で日傘を差して舟遊びをする人が写っています。また、写真3は、秋に枝垂れた萩の花が咲き誇る様子が見て取れ、前述の碑文に記されたような景色が確認できます。昭和8（1933）年の『柳河新報』には「昨今は漁舟を浮べて清遊する者尠からず」（「新村の萩と月と漁」9月16日付）という記事があり、秋の花盛りの時期にも同様に舟の上で萩の花見が行われていたことが分かります。

このように二ツ川の萩は景勝地として、柳川の人々はもとより観光客や多くの文化人に愛されました。しかし、度重なる堤防の改修工事などで、鑑寛が植えた萩は徐々に少なくなっていくたようです。
二ツ川で萩を楽しんだご経験がある方や、写真をお持ちの方がいらつしやいましたら、ぜひお知らせください。

市史編集委員会では、数年後に写真を中心とした本を刊行する予定で、現在さまざまな写真や絵はがきなどを集めています。毎月15日号に、同委員会で集めた写真を紹介します。

【問】市生涯学習課市史編さん係（☎72・1275）